



2023年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年1月11日

上場会社名 株式会社コシダカホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 2157 URL <http://www.koshidakaholdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 腰高 博
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 土井 義人 (TEL) 03-6403-5710
 四半期報告書提出予定日 2023年1月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期第1四半期の連結業績(2022年9月1日~2022年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第1四半期	11,278	77.0	534	—	535	—	327	—
2022年8月期第1四半期	6,371	△2.7	△1,130	—	△196	—	△215	—

(注) 包括利益 2023年8月期第1四半期 442百万円(—%) 2022年8月期第1四半期 △228百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第1四半期	4.01	3.69
2022年8月期第1四半期	△2.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第1四半期	48,367	19,625	40.6
2022年8月期	47,273	19,508	41.2

(参考) 自己資本 2023年8月期第1四半期 19,616百万円 2022年8月期 19,500百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期	—	4.00	—	4.00	8.00
2023年8月期	—	—	—	—	—
2023年8月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年8月期の連結業績予想(2022年9月1日~2023年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	25,138	52.0	3,383	—	3,377	13.6	2,026	7.5	24.85
通期	53,361	40.4	7,430	236.8	7,403	38.9	4,442	21.9	54.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 一 、除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年8月期1Q	82,300,000株	2022年8月期	82,300,000株
② 期末自己株式数	2023年8月期1Q	767,335株	2022年8月期	767,296株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年8月期1Q	81,532,694株	2022年8月期1Q	81,532,704株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信【添付資料】P.3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9
(収益認識関係)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、ウクライナ戦争、エネルギー・食料の供給不足、円安等の不安定要素が長期化の様相を呈する中、新型コロナウイルス収束・再拡大に伴う消費マインドの変動に左右される状況となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

(カラオケ)

主力のカラオケ事業では、9月、10月と新型コロナウイルス感染症拡大第7波収束による消費回復を受け、一部リベンジ需要の取り込みも実現しましたが、11月中旬以降新型コロナウイルス感染症の再拡大を受け、コロナ前の通常であれば年末需要に向け漸増していた売上高が11月初旬の水準で停滞する状況で当四半期を終えました。

コロナ禍中にも行っていた積極出店は当四半期中も継続し、当第1四半期連結累計期間においても、カラオケまねきねこ19店舗を開設しました。

また、2019年9月にスタートした中期経営ビジョン「エンタメをインフラに」の実現に向け、「PG」「ミラPon!」などカラオケ以外のエンターテインメントの提供、コンテンツコラボの積極的展開、採用・教育体制の拡充を進めました。

海外においても、東南アジアでの新規出店（マレーシア2店舗、タイ2店舗）を再開いたしました。

当第1四半期連結累計期間末のカラオケセグメントの国内店舗数は、前連結会計年度末比17店舗増加し599店舗、海外店舗数は同4店舗増の4か国15店舗（韓国4店舗、マレーシア8店舗、タイ2店舗、インドネシア1店舗）となりました。

以上の結果、カラオケセグメントの売上高は、107億41百万円（前年同期比80.6%増）、セグメント利益は7億84百万円（前年同期比17億34百万円改善、黒字化）となりました。

(温浴)

カラオケセグメント同様、新型コロナウイルス感染症の収束・再拡大による、消費動向の変動の影響を受けました。

この結果、温浴セグメントの売上高は2億46百万円（前年同期比17.5%増）、セグメント損失は7百万円（前年同期比36百万円改善、赤字額縮小）となりました。

(不動産管理)

主要物件である「アクエル前橋」、「フルーレ花咲ビル」とも期初よりほぼ満床にて推移いたしました。

この結果、不動産管理セグメントの売上高は3億45百万円（前年同期比32.1%増）、セグメント利益は81百万円（前年同期比188.3%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間の当社グループ（当社及び連結子会社）の経営成績は、以下の通りとなりました。

売上高 112億78百万円（前年同期比77.0%増）

営業利益 5億34百万円（前年同期比16億64百万円増加、黒字転換）

経常利益 5億35百万円（前年同期比7億32百万円増加、黒字転換）

親会社株主に帰属する四半期純利益 3億27百万円（前年同期比5億42百万円増加、黒字転換）

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、12億29百万円減少し86億81百万円（前連結会計年度末比12.4%減）となりました。これは主に、現金及び預金が15億9百万円減少したことなどによるものです。

固定資産は、23億24百万円増加し396億86百万円（同比6.2%増）となりました。これは主に、建物及び構築物（純額）が11億8百万円、車両運搬具及び工具器具備品（純額）が3億7百万円、長期貸付金が6億15百万円、敷金及び

保証金が4億67百万円、それぞれ増加したことなどによるものです。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ10億94百万円増加し483億67百万円(同比2.3%増)となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、5億14百万円増加し101億57百万円(同比5.3%増)となりました。これは主に短期借入金が増加した一方、未払税金等が増加した一方、未払法人税等が増加した一方、未払消費税等のその他流動負債が減少したことなどによるものです。

固定負債は、4億63百万円増加し185億84百万円(同比2.6%増)となりました。これは主に長期借入金が増加した一方、資産除去債務が増加したことなどによるものです。

この結果、負債合計は9億77百万円増加し287億42百万円(同比3.5%増)となりました。

(純資産)

純資産は1億16百万円増加し196億25百万円(同比0.6%増)となりました。これは主に、為替換算調整勘定が増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しについては、ウクライナ戦争、エネルギー・食料の供給不足、円安などの不安定要素は長期化の様相を呈し、新型コロナウイルスについては今後も拡大・収束を繰り返すものとみられますが、第7波では行動制限を課さずに収束を見たことや、変異株に対応したワクチンの接種開始もあり、水際対策の緩和を含め新型コロナウイルスの常態化を前提とした政策、消費行動が定着していくものと想定しております。

新型コロナウイルス拡大第8波についても従来に比して拡大ペースが緩やかなことなどから、行動制限政策の発出には至らず年末年始商戦を迎えております。駅前・繁華街への積極的な出店も継続しており、現時点では2022年10月12日に公表した業績予想から変更はございません。

なお、当該業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,977,443	5,468,158
受取手形及び売掛金	525,866	598,715
商品	23,707	38,091
原材料及び貯蔵品	240,144	287,110
その他	2,161,669	2,306,863
貸倒引当金	△17,677	△17,685
流動資産合計	9,911,154	8,681,252
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,405,196	21,513,675
車両運搬具及び工具器具備品（純額）	2,196,998	2,504,215
土地	4,490,814	4,461,907
建設仮勘定	9,010	9,010
有形固定資産合計	27,102,019	28,488,810
無形固定資産		
のれん	4,915	3,888
ソフトウェア	223,418	244,308
その他	210,914	221,736
無形固定資産合計	439,248	469,933
投資その他の資産		
投資有価証券	141,677	194,447
関係会社株式	10,284	10,434
長期貸付金	1,397,800	2,013,546
長期前払費用	44,866	41,144
敷金及び保証金	6,045,882	6,513,145
繰延税金資産	2,563,537	2,416,892
その他	182,386	170,263
貸倒引当金	△565,660	△632,407
投資その他の資産合計	9,820,774	10,727,466
固定資産合計	37,362,042	39,686,210
資産合計	47,273,196	48,367,462

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	443,200	526,507
短期借入金	—	1,500,000
1年内返済予定の長期借入金	2,188,243	2,174,910
未払金	1,744,506	2,430,455
未払費用	1,377,403	1,453,419
未払法人税等	736,756	128,224
賞与引当金	229,570	117,995
預り金	56,297	93,011
その他	2,867,573	1,733,413
流動負債合計	9,643,551	10,157,936
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	4,000,000	4,000,000
長期借入金	8,744,700	8,890,140
繰延税金負債	233,336	245,919
資産除去債務	4,225,294	4,532,672
その他	917,666	915,511
固定負債合計	18,120,998	18,584,243
負債合計	27,764,549	28,742,180
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,070,257	2,070,257
資本剰余金	3,302,786	3,302,786
利益剰余金	14,423,589	14,424,523
自己株式	△105,662	△105,695
株主資本合計	19,690,970	19,691,871
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,189	27,607
為替換算調整勘定	△215,134	△102,819
その他の包括利益累計額合計	△190,945	△75,211
新株予約権	8,622	8,622
純資産合計	19,508,647	19,625,282
負債純資産合計	47,273,196	48,367,462

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2021年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)
売上高	6,371,902	11,278,683
売上原価	6,563,769	9,427,090
売上総利益又は売上総損失(△)	△191,866	1,851,592
販売費及び一般管理費	938,846	1,317,417
営業利益又は営業損失(△)	△1,130,713	534,175
営業外収益		
受取利息及び配当金	4,031	8,069
為替差益	11,474	28,336
補助金収入	935,650	—
その他	46,081	33,928
営業外収益合計	997,238	70,335
営業外費用		
支払利息	12,453	9,130
貸倒引当金繰入額	46,996	57,186
その他	3,291	2,220
営業外費用合計	62,740	68,537
経常利益又は経常損失(△)	△196,215	535,972
特別利益		
固定資産売却益	84,210	296
特別利益合計	84,210	296
特別損失		
固定資産除却損	8,581	12,406
減損損失	53,674	—
特別損失合計	62,255	12,406
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△174,260	523,863
法人税、住民税及び事業税	39,459	39,078
法人税等調整額	1,478	157,719
法人税等合計	40,937	196,797
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△215,198	327,065
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△215,198	327,065

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2021年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△215,198	327,065
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△833	3,418
為替換算調整勘定	△12,858	112,315
その他の包括利益合計	△13,692	115,733
四半期包括利益	△228,890	442,798
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△228,890	442,798

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年9月1日 至 2021年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	カラオケ	温浴	不動産管理			
売上高						
顧客との契約から生じる収益	5,948,521	210,078	555	6,159,154	—	6,159,154
その他の収益	—	—	212,747	212,747	—	212,747
外部顧客への売上高	5,948,521	210,078	213,303	6,371,902	—	6,371,902
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	48,368	48,368	△48,368	—
計	5,948,521	210,078	261,671	6,420,271	△48,368	6,371,902
セグメント利益又は損失(△)	△950,542	△43,446	28,108	△965,880	△164,833	△1,130,713

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△164,833千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失及びのれん等の重要な変動について、該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	カラオケ	温浴	不動産管理			
売上高						
顧客との契約から生じる収益	10,741,871	246,858	752	10,989,482	—	10,989,482
その他の収益	—	—	289,200	289,200	—	289,200
外部顧客への売上高	10,741,871	246,858	289,953	11,278,683	—	11,278,683
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	55,686	55,686	△55,686	—
計	10,741,871	246,858	345,640	11,334,370	△55,686	11,278,683
セグメント利益又は損失(△)	784,345	△7,249	81,042	858,138	△323,963	534,175

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△323,963千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失及びのれん等の重要な変動について、該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。